



平成 28 年 6 月 24 日

各 位

会社名 双 信 電 機 株 式 会 社  
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 上 岡 崇  
(コード番号： 6938 東証第1部)  
問合せ先 経 営 推 進 本 部 経 営 企 画 室 長 中 西 港 二  
(TEL： 03-5730-4500)

## 支配株主等に関する事項について

### (1) 親会社の商号等

当社の親会社は次のとおり日本碍子株式会社1社であり、その他の支配株主等はありません。

(平成 28 年 3 月 31 日現在)

親会社	属性	親会社の 議決権所有割合(%)	親会社が発行する株券が 上場されている証券取引所
日本碍子株式会社	親会社	40.7%	株式会社東京証券取引所 株式会社名古屋証券取引所

### (2) 親会社の企業グループにおける当社の位置付けその他の当社と親会社との関係

親会社である日本碍子株式会社は、当社総株主の議決権の 40.7%を所有する筆頭株主であり、当社グループの事業は、同社の事業区分の中ではエレクトロニクス事業に属しており、セラミック電子部品に係わる技術、開発面を中心に緊密な関係にあります。また、資金面においても同社の運営する CMS(キャッシュ・マネジメント・システム)に参画し、余剰資金の運用および運転資金の借入を行っております。

同社とは経営力の強化、技術、開発の連携を目的として、同社より 5 名の出向者を受け入れております。

同社のセラミックに係わる技術を応用した当社の LTCC 事業は、同社および同社の企業グループでは行っておらず、明確な事業の棲分けがされており、LTCC 事業以外の事業においても親会社からの制約はなく、経営上の独立性を保ちながら独自の事業活動を行っております。

当社は親会社の企業グループと緊密な協力関係を保ちながら事業を展開する方針ではありますが、一方で独自の経営方針および経営戦略に基づき独立した事業活動を行っており、親会社の企業グループとの明確な事業の棲分けもされております。また、親会社からの出向者の状況は以下に記載のとおりではありますが、いずれも当社からの要請に基づくものであり、当社独自の経営判断を妨げるものではなく、一定の独立性が確保されていると認識しております。

### (出向者の受入状況)

(平成 28 年 6 月 24 日現在)

部署名	人数	出向者受入理由
経営推進本部、営業本部 EMC 事業部、技術本部	5 名	体制強化のため当社から要請

(3)親会社との取引に関する事項

当連結会計年度(自 平成 27 年 4 月 1 日 至 平成 28 年 3 月 31 日)

属性	会社等の名称	住所	資本金 (千円)	事業の内容	議決権等の 所有(被所有) 割合	関連当事者との 関係	取引の 内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
親会社	日本碍子㈱	名古屋市 瑞穂区	69,849,166	がいし等電力 関連機器、産 業用セラミッ クス製品、特殊 金属製品の製 造販売及びプ ラントエンジ アリング事業	(被所有) 直接 40.7%	資金の貸付	資金の 貸付	1,423,179	短期貸付金	623,537
							利息の 受取	1,884	流動資産 (その他)	178
							資金の 借入	100,044	短期借入金	22,215

(注) 当社は、日本碍子㈱が導入しているCMS(キャッシュ・マネジメント・システム)に参画しております。

資金の貸付および資金の借入についてはCMSに係るものであり、市場金利を勘案して利率を合理的に決定しており、担保の差し入れおよび受け入れは行っておりません。

(4)親会社との取引等を行う際における少数株主の保護の方策の履行状況

親会社である日本碍子株式会社とは、技術供与に関する対価の支払いを除き重要な営業上の取引は行っておりません。なお、技術供与の対価については同社との契約書で取り決めておりますが、契約書の締結においては、当社の取締役会においてその内容が一般に公正妥当であることを確認の上、承認しております。

また、当社グループは日本碍子株式会社の運営するキャッシュ・マネジメント・システムに参画し、余剰資金及び不足資金について金銭の貸借取引を行っております。その際の利率については市場水準を勘案して合理的に決定しております。

以 上